

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：平成19年度～平成22年度
課題番号：19520043
研究課題名（和文） 永楽三大全の基礎的研究

研究課題名（英文） Fundamental study of Yong le san da quan

研究代表者

鶴成 久章（TSURUNARI HISAKI）
福岡教育大学・教育学部・教授
研究者番号：20294845

研究代表者の専門分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・中国哲学

キーワード：永楽三大全、五経大全、四書大全、性理大全、科举

1. 研究計画の概要

「永楽三大全」は宋～明初の経学・性理学の成果を集大成した書物であり、その精確な理解抜きに永楽年間以降の中国はもとより東アジア儒教文化圏の学術・思想の正確な把握は不可能であると言える。しかしながら、その重要性に比して、従来の研究の蓄積は極めて不十分な状況にある。そこで、本研究においては、「永楽三大全」中の各「大全」について、それぞれの「大全」が基づいた藍本の問題や引用文献の種類・内容といった根本的な問題について基礎的な考察を行うことを通じて、「永楽三大全」の特質を明らかにすることを第一の目的としている。また、それだけには止まらず、「永楽三大全」に対する基礎的な研究を通じて、明永楽年間以降の中国はもとより東アジア儒教文化圏の学術・思想の特質に関わる諸問題にも随時研究を広げることを目指している。

2. 研究の進捗状況

19年度から当初の計画に従い『詩伝大全』『春秋大全』『周易大全』『書伝大全』『礼記大全』『四書大全』の順に、「永楽三大全」中の各「大全」について、それぞれが基づいた藍本の問題や引用文献の種類・内容といった根本的な問題について基礎的な考察を行った。そして、藍本の問題については『四書大全』を除きほぼ考察を終えることができた。その結果、『四庫全書総目提要』や『日知録』等に見られる「永楽三大全」に関する指摘を修正あるいは補足できる知見が少なからず得られた。なお、この研究を通じて得られた「永楽三大全」の特質の概略については、その一部を22年度に出版予定の著

書（共著）の中で発表予定である。また、「五経大全」については、国会図書館に蔵される明内府刊本の版本調査も行った。

本研究の主な目的は「永楽三大全」の内容の考察であるが、それに加えて明永楽年間以降の中国はもとより東アジア儒教文化圏の学術・思想の特質に関わる諸問題にも必要に応じて随時研究を広げることを目指している。その関連の研究成果としては、「四書」学をめぐって王守仁の「大学古本序」執筆の思想的背景について考察した研究（「王守仁の白鹿洞書院石刻をめぐって—「大学古本序」最終稿の所在」）、また、「四書大全」の解釈に準拠することが求められた明代の科举試験の制義に「四書大全」の学説を逸脱する内容の答案を書いた楊起元という人物の思想について考察した研究（「明代科举と陽明学—楊起元の制義を中心に」）、さらに、「永楽三大全」が受験用のテキストに指定されていて答案作成の際に実際に「三大全」が使われていた明代会試における答案審査の観点について考察した研究（「明代会試判卷標準考」）等を行い、学会や学術雑誌で発表した。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

（理由）成果の一部を「永楽三大全」の引用書目として発表する予定であったが、その体例が煩瑣になりすぎて整理に手間取っているため。

4. 今後の研究の推進方策

「三大全」が基づいた藍本の問題や引用文献の種類・内容といった根本的な問題につい

て基礎的な考察を行うことを通じて「永樂三大全」の特質を明らかにする研究は、最終年度も継続して行う。但し、「永樂三大全」については、『四庫全書』本のテキストデータが割合廉価で分売されるようになり、以前に比べて個人での入手が極めて容易になっている。そのため、細かい引用書目を作成するのではなく、普及しつつある「永樂三大全」のテキストデータを活用しやすくなるような研究成果のまとめ方を改めて検討しながら残された期間の研究を遂行したい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① 鶴成久章、明代会試判卷標準考、考試研究、第6巻・第1期、92～108頁、2010年1月、査読有り
- ② 鶴成久章、王守仁の白鹿洞書院石刻をめぐって——「大学古本序」最終稿の所在、陽明学、第20号、83～103頁、2008年3月

[学会発表] (計4件)

- ① 鶴成久章、明代科挙と陽明学——楊起元の制義を中心に——、東方学会第58回全国会員総会、2008年11月8日、京大会館
- ② 鶴成久章、可以托六尺之孤——建文元年的京闈与方孝孺——、第四届科挙制与科挙学学术研討会、2008年10月14日、天津市教育考試与評価研究所
- ③ 鶴成久章、王守仁之白鹿洞書院石刻発微、東亜書院与儒学国際研討会、2007年10月22日、中国湖南大学岳麓書院

[図書] (計1件)